

問1 九州地方の各県を比較した統計において、小麦の収穫量が約8,800トン、携帯電話の加入数が約1,114,000件である一方、温泉の源泉数が4,342箇所と他県に比べて突出して多い特徴を持つ県はどこですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)

1. 大分県 2. 佐賀県 3. 沖縄県 4. 愛知県

問2 九州地方の西側に位置する東シナ海には、大陸から続く平坦な海底が広がっています。このような、一般に水深が200mよりも浅い海底地形を何と呼びますか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)

1. 大陸棚 2. 海盆 3. 砂州 4. 海溝

問3 九州地方では、電子機器や精密機械に使用される、多数の電子部品を一つの基板上にまとめた部品の生産が非常に盛んです。この部品は一般に「ＩＣ」と呼ばれますが、その正式な名称を選びなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)

1. 集積回路 2. 自動車部品 3. 発光ダイオード 4. 石油化学製品

問4 明治時代、日本の近代化を進めるために九州北部に官営の八幡製鉄所が建設されました。この場所に建設された理由として、当時の資源供給の面から説明した文として最も適切なものはどれか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)

1. 近隣で良質なボーキサイトが大量に採掘されており、アルミニウム製造の電力を確保しやすかったため。  
2. 周辺地域に豊富な天然ガスが埋蔵されており、それを活用した新しいエネルギー供給網が整っていたため。  
3. 四万十川などの急流を利用した水力発電によって、鉄鋼生産に必要な大量の電力を安価に得られたため。  
4. 筑豊炭田などで産出される石炭を燃料として利用しやすく、大陸からの鉄鉱石の輸入にも適していたため。

問5 九州地方の阿蘇山などに代表される、火山の大規模な噴火によって形成された、大きなくぼ地状の地形を何といいますか。 (2022年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 三角州 2. カルデラ 3. シラス台地 4. 扇状地

問6 ある都市の統計において、第3次産業の就業者割合が約84.5%と非常に高く、65歳以上の高齢者割合も約31.0%に達している場合、その都市の産業特性として考えられる内容を次の中から選びなさい。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)

1. 大都市圏のベッドタウンとして機能しており、都心部へ通勤する会社員が多いため、夜間人口が昼間人口を大きく上回っている。  
2. 平野部において高度に機械化された稲作が行われており、周辺自治体に比べて第1次産業の就業者数が突出している。  
3. 高速道路のインターチェンジ付近に半導体工場などの工業団地が形成されており、製造業に従事する第2次産業の割合が高い。  
4. 温泉などの観光資源を基盤とした宿泊業・サービス業が産業の主軸となっており、観光に従事する人々が産業の大部分を占めている。

問7 福岡県の工業は、かつては北九州工業地帯を中心とした鉄鋼業や化学工業などの重化学工業が盛んでしたが、1970年代の石油危機以降、産業構造に大きな変化が見られました。この変化の内容と背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2016年 東京都公立入試 類似)

1. 1980年以降、製造業が県外の愛知県や神奈川県へ流出したため、工業地帯を縮小し、九州地方の特産品を活かした農業中心の産業構造へと転換した。  
2. 石油危機を契機に北九州工業地帯の鉄鋼業をさらに強化し、海外からの原料輸入に頼らない自給自足の体制を整えることで、製造品出荷額を維持した。  
3. 環境問題への対策として沿岸部の工場をすべて閉鎖し、福岡市を中心とした商業と観光業のみに特化する政策をとったことで、工業出荷額は減少傾向にある。  
4. 石油危機後の不況をきっかけに、従来の沿岸部における重化学工業から、広い用地が確保しやすい内陸部や県東部を中心とした自動車工業へと主力産業が移行した。

問8 沖縄県の地域調査において、本土復帰から現代までの経済統計について考察した次の記述のうち、正しいものはどれですか。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)

1. 復帰直後の沖縄県では基地関連収入が県民総所得の5.7%を占めるに過ぎなかったが、現在は基地の役割が増大し、その割合は30.4%に達している。  
2. 1972年と2014年を比較すると、県民総所得に占める基地関連収入の割合は約4分の1以下に低下しており、基地に依存しない経済への転換が進んでいる。  
3. 基地関連収入の割合が大幅に低下したのは、県民総所得の総額が1972年時点よりも減少したためであり、沖縄経済の規模は縮小を続けている。  
4. 県民総所得の総額は、1972年の約5,000億円から2014年の約4兆3,000億円へと増加しているが、基地関連収入の割合は依然として30%を超えている。

問9 かつて深刻な大気汚染などの公害を経験しましたが、その克服の歴史を活かし、現在はリサイクル産業などを集積させた「エコタウン」事業を推進している地域があります。九州地方の北部に位置し、官営八幡製鉄所の稼働以来、日本の工業を支えてきたこの都道府県はどこですか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)

1. 岡山県 2. 福岡県 3. 兵庫県 4. 広島県

問10 鹿児島県における豚の飼育状況について、1970年代から2010年代にかけての変化を説明した文として、適切なものはどれですか。 (2015年 兵庫県公立入試 類似)

1. 飼育戸数は横ばいだが、一戸あたりの飼育頭数が減ったため、生産効率が低下した。  
2. 飼育戸数が減少する一方で、一戸あたりの飼育頭数が増加し、経営規模が拡大した。  
3. 飼育戸数が急増したことにより、一戸あたりの飼育頭数が制限されるようになった。  
4. 飼育戸数と飼育頭数がともに減少し、県全体の生産体制が縮小した。

問11 鹿児島県の農業において、米や野菜の生産額よりも畜産の生産額が圧倒的に多くなっている背景として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものを選んでください。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)

1. 平野部が極めて狭く、山地での放牧が唯一の農業手段として古くから定着してきたため。  
2. 火山噴出物によるシラス台地が広く分布し、水はけが良すぎて稲作に適さない土地を有効活用するため。  
3. 梅雨時期の降水量が極端に少ないため、乾燥に強い家畜の飼育が地域の主要産業となったため。  
4. 冬でも温暖な気候を利用して、大消費地向けの野菜を他の地域より早く出荷する促成栽培に特化したため。

問12 日本の農業における小麦生産について、2018年の収穫量統計において1位の北海道に次いで、2位、3位、9位といずれも全国トップ10にランクインしている九州地方の3つの県の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2021年 長野県公立入試 類似)

1. 福岡県・佐賀県・熊本県 2. 愛知県・群馬県・滋賀県 3. 福岡県・愛知県・静岡県 4. 佐賀県・滋賀県・茨城県